

# PTA研修旅行



鬼首地獄谷

教養部長 佐々木恵美 (登米支部)

今年度の研修は、鬼首地獄谷散策と、岩手山みちのくミルク工場、アルプス電気見学に行きました。前日まで雨が晴れ、参加者皆さんの日頃の行いの賜物、研修日和の一日になりました。車内では、自己紹介の後初めてお会いする方も多し中、笑い声や楽しい会話が止むことなく親睦を深めました。研修の目的のPTA会員の親睦を深めるのが朝の時点で達成され嬉しく思いました。

地獄谷散策森の緑にエネルギーを感じ、石の間から吐きだす蒸気に山は生きていと感じることができました。空気も屋敷も美味しく、心もお腹も満たしてくれました。みちのくミルク工場見学では、ヨーグルトなどがオートメーションで作られていて次々と流れてくる速さと機械の動きに、子供のように「すごい」と声をあげていました。最後の袋の破損の点検は人間の目で行っており、まだ機械には負けない人の力に安心しました。

アルプス電気は、世界を相手に車の部品を会社、車種ごとに違うボタンの大きさ、さわりごちを分け開発製造している事を知りました。そして、登米高卒業生の方が県内に数人しかいない資格を持ち活躍していると聞き、驚き誇らしくなりました。その話の中で登米高生の力、就活に期待していますとお話をいただきましたうれしくなりました。これから続く後輩達に明るい光が見え、企業見学が実のある貴重な体験、勉強の場になりました。帰路の車内では、別れを惜しむ声もあり、深めた親睦を今後のPTA活動に活かしてほしいと思いました。日程が平日ということもあり、参加は厳しい方もあるかと思いますが、PTA会員の皆さん、おもいきって参加してみてください。すごく楽しく実りのある一日になると思えます。



みちのくミルク株式会社

春日 英子 (登米支部)

幸か不幸か顧問の永田先生に一番の『おっかけ母さん』だというノミネートを受け、「おっかけ奮闘記」の記事を投稿させて頂いた。こととなりました。今から六年前、娘中学校一年の春、吹奏楽部に入部することを決めた娘に対して、昔中高時代バリバリの体育会系で育ってきた私には、吹奏楽部というものを理解し受け入れるためには、少しの間がかかりました。大声を出さずしてどうやって応援したらよいのだろうか(送)。

三年間は、毎年県大会に出場しリズムミティーの大舞台に立つ娘をみるのができました。高校に入学したある日、娘がとうとうヤマハのサクソスカタログ見開きページをご提案してきました。いくら追っかけ母さんでも、決してそれは快くオーケーできるものではないと、ふだんあまり交流のない父親に相談してみたらと、父親は一つ返事で了解してくれました。私のように目立った追っかけはしなくとも、ちゃんと応援してくれてるんだなあと見直したところでもありました。マイ楽器を手に入れたことでも拍手をかけたのか、素人目ではありますかなり上達したなあと感じる今日この頃です。

スポーツに比べると、音楽は個人個人の出せる限界というものがそこはかとなく限らないもののように感じます。しかしそんな風に思えるのは、多分私が演奏者である娘の一番のファンだからでしょう。これから高校時代最後を飾る大きなコンクールが待っています。どうか悔いのないよう思いっきり吹きまくってほしいと願っています。そしてこれらの長い人生追っかけはできなくなっちゃうけれど、いつの時だって一番の応援者でありたいと思います。最後になりましたが、顧問の先生方始め部員の皆さん。楽しい思い出をたくさん作っていただきましたことに深く感謝を申し上げます。

# おっかけ奮闘記

田口 英和 (迫支部)

バスケットボールが大好きで仕方がなく、楽しそうに話をする娘の試合を観に行くようになってから十年、私の追っかけがはじまりました。ただ応援するつもりが、私の経験から細かくアドバイスする様になり、楽しいだけでなく色々つらい想いもさせてしまいました。それでも努力の甲斐あって中学では、宮城県選抜選手になり、都道府県対抗の全国大会も経験する事が出来ました。あまり誉める事をしていませんでしたが、正直とてもうれしかったです。高校は、伝統ある登米高バスケット部に入学して、今まで以上に練習に打ち込む様になりました。上を目指し目標に向って頑張る子供の姿に、親として出来るだけ協

力しようと強く思いました。練習試合や遠征の送迎等、他いろいろ大変な事もありましたが、そのお陰で親同士の交流や子供とのコミュニケーション等すごく良かったです。三年生では、キャプテンになり、チームづくりの事で色々悩んだ事もあった様ですが、沢山の方々を支えられ、無事に県総体を終える事が出来ました。良い結果ではありませんでしたが、試合後、先輩後輩関係なく抱き合っって号泣していた姿は、すごく悲しい場面でしたが、私にはすごく素敵な光景に見えました。良いチームがそこにありました。子供と一緒にいたいと思います。子供と一緒にいたいと思えます。追っかけ最高です。